

救急・がん・予防医療の3本柱で診療を行っている地域医療支援病院

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

10 HITOYOSHI MEDICAL CENTER

自分で考え行動できる環境で 総合診療の臨床能力を高める

当院では、特に救急医療においては人吉球磨地域のほとんどの救急患者を受け入れるなど、幅広い診療を行っています。研修の際はまず自分で考え行動することで、基本的な臨床能力がアップするはず。また、総合診療医の養成にも力を入れています。患者を全人的に診るために必要な臨床能力を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる人材育成を行います。「この病院で研修をしてよかった。」と感じていただけるような環境で皆さんを歓迎いたします。



2017年度病院実績



“自分のペースを守りながら
“現場主義”で地域医療や
総合診療を学べる”

Interview

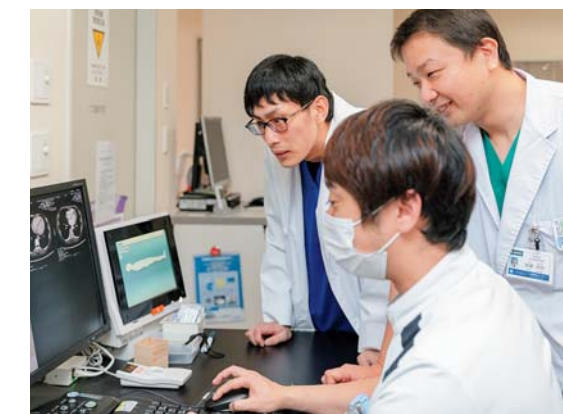
研修医 佐藤 慶治
KEIJI SATOU

年数 / 臨床研修医2年目

出身大学 / 熊本大学

出身地 / 熊本県熊本市

学生時代、外科系、特に整形外科は、自分の手で患者さんを治す実感が強いと感じて興味を持っていました。この「人吉医療センター」には、若手で経験豊富な整形外科医が多くいると聞き、見学に来ることに。第一印象は「ザ・現場」という感じで、良い意味で「泥臭く」診療に当たる研修医や上級医の姿に、臨床で多くのことを学べそうだという好感を持ちました。熊大病院のたすき掛けで、1年だけ当院を選択しようか迷いましたが、先輩が「人吉に2年間いたかった」と言っていたことが決め手となり、当院での研修を決めました。実際研修が始まると、予想以上に「現場主義」な研修です。上級医のサポートの元で何でもやらせてもらえ、責任感を強く感じます。とはいえ忙しい症例に追われる程ではないので、1つ1つ自分で勉強を重ねながら、自分のペースで学ぶことができます。研修する診療科の自由度が高いのも魅力です。また、普通の急性期病院と違い、当院は救急搬送から退院まで全て院内で完結させる場合がほとんどです。軽度の肺炎から重篤な疾患まで症状も幅広く、一連の治療を後追いできるのは貴重な経験です。さらに「なるべく病院に来ない」ように、高齢者の生活面や家族背景などにも踏み込んで病気の予防に取り組んでいるのも当院の特徴です。高齢化が進む日本で、貴重な学びになると思います。整形外科分野を目指す人はもちろん、現場で鍛えられながら地域医療や総合診療を学びたい人にもオススメです。努力次第で、様々な未来が開ける場所です！



人吉医療センター
副院長・プログラム責任者
薬師寺 俊剛
Toshitake Yakushiji

●指導医からのコメント

当院では2年目の研修医が1年目を指導する屋根瓦方式をとっています。上級医や他職種の講義を受けられる「モーニングレクチャー」や、検査技師による検査実習など、病院全体で研修医を育てる取組みも。さらに、全研修医が相談しながら翌月の研修内容を定めるなど、自由度の高い研修システムを導入しています。

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■初期臨床研修 週間スケジュール

1・2年次:診察科目/全科

曜日	月	火	水	木	金
午前	各科指導医が手術や検査、患者状況などを確認しながら随時決定していきます。				
午後					

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科			外科			麻酔科	救急部門			内科	
場所	人吉医療センター											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科							
場所	人吉医療センター	人吉医療センター・ 愛甲産婦人科 麻酔科	吉田病院	人吉医療センター・ 協力施設*1	人吉医療センター(選択科*2)・ 愛甲産婦人科麻酔科(産婦人科)・吉田病院(精神科)・リバーサイド御薬園(地域保健)・ 協力施設*1(地域医療)							

*1 協力施設/ 外山病院(人吉市)、五木村診療所(五木村)、朝戸医院(鹿児島県沖永良部)、湯布院病院(大分県)、若狭高浜病院(福井県)、二本松病院(福島県)、秋田病院(秋田県)、登別病院(北海道)
*2 選択科目/ 内科、外科、麻酔科、救急、小児科、地域医療、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、総合診療科

後期研修

JCHO人吉医療センター総合診療医専門医研修プログラムと日本プライマリ・ケア連合学会認定阿蘇天草球磨人吉プログラムを実施しています。(詳細は当院ホームページをご確認ください。)

「臨床研修の到達目標」に準拠した研修目標を習得するプログラム

医師としての人格を育成し、臨床医として必要な基本的診療能力を身に付けることを研修の目的とし、厚生労働省が提示の「臨床研修の到達目標」に準拠した研修目標を習得するプログラムです。
研修1年目に必修科目である「内科」6か月、「救急」3か月、選択必修科目である「外科」2か月、「麻酔科」1か月を研修し、2年目に必修研修科目「地域医療」1か月、選択必修科目「小児科」1か月、「産婦人科」1ヶ月、「精神科」1ヶ月、8ヶ月間は選択科目の内科/外科/麻酔科/救急/小児科/地域医療/産婦人科/整形外科/脳神経外科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線科/病理診断科/精神科/地域保健から自由に選択することができます。(ただし研修目標到達状況によっては再度同じ科を研修する場合があります。)



病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



DOCTOR	医師数 60名	INTERN	研修医数 11名	ADVISOR	指導医数 25名	SICKBED	病床数 252床
--------	------------	--------	-------------	---------	-------------	---------	-------------

標榜科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科、総合診療科

専門医

呼吸器内科1名、循環器内科4名、血液内科1名、外科7名、整形外科4名、脳神経外科1名、小児科2名、耳鼻咽喉科1名、産婦人科4名、総合診療科1名、麻酔科1名、放射線科2名、病理診療科1名、予防医療センター3名

認定医

呼吸器内科1名、循環器内科4名、血液内科1名、外科7名、産婦人科2名、総合診療科1名、予防医療センター2名



HITYOYOSHI MEDICAL CENTER

研修医募集要項

定員	7名	所在地	〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地
応募資格	①2020年2月実施医師国家試験合格見込者 ②医師臨床研修マッチングに参加する者	担当部署	総務企画課
応募締切	2019年8月末	T E L	0966-22-2191(代表)内線141
試験日程	随時	F A X	0966-24-2116
試験内容	書類審査、面接試験	E - m a i l	main@hitoyoshi.jcho.go.jp
給料	1年次/年6,000,000円程度(賞与含む) 2年次/年6,500,000円程度(賞与含む)	U R L	hitoyoshi.jcho.go.jp
諸手当	時間外休日他		
年次有給休暇	有		
宿舎	有(5,000円～)		
加入する保険等	健康保険、厚生年金、労働災害補償保険、雇用保険		
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意		
当直回数	月5回程度		

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
hitoyoshi.jcho.go.jp/採用情報/

